

## 令和5年度 第21回病気療養児の教育研修会 報告

大阪大学医学部附属病院分教室

### 1 はじめに

「病気療養児の教育研修会」は、大阪大学医学部附属病院の協力を得て毎年実施している。以下、概要を報告する。

### 2 第21回「病気療養児の教育研修会」の概要

日 時 令和5年7月26日（水） 14:00～17:00  
場 所 大阪大学医学部医学講義棟 3階E講堂  
対 象 大阪府内の公立小中学校・高等学校の教職員  
大阪府内の支援学校の教職員  
本分教室に在籍した児童生徒の地域校の教職員（府外・私立学校を含む）

#### 内 容

#### (1) 講演「放射線治療および長期入院児への歯科治療について」

大阪大学大学院歯学研究科歯科放射線学講座 教授 村上 秀明

#### <主な内容>

- ・ 歯科治療に関して、歯のつくりから生える順序、ケアの大切さなど
- ・ 長期入院児において、口腔内の細菌が全身の病気の元となり得ることから、口腔内を清潔に保つことが非常に重要であること
- ・ 放射線治療について、どのような方法で治療が進められるのか、治療方法の進歩と今後の展望について

#### (2) 実践報告「入院している子どもたちへの教育支援」

本分教室長 首席

### 3 アンケート結果報告

#### (1) 参加者について

小学校、中学校、支援学校などから58名の参加があった。

#### (申込用紙集計)

所属	小学校	中学校	高等学校	支援学校	合計
	28(48%)	24(41%)	3(5%)	3(5%)	58

職種	養護教諭	支援学級 担当	院内学級 担当	一般学級 担当	その他	合計
	25(43%)	22(38%)	3(5%)	3(5%)	5(8%)	58

\*表の数値は人数を、カッコ内は割合を表している。

### Ⅲ 公開講座

#### (2) アンケート回答（一部抜粋）

##### ○講演

- ・村上先生のお話が面白かったです。一般的な歯科分野の話から、がん治療まで興味深くであったという間の1時間半でした。
- ・子どもの虫歯が多く、母親に伝えても病院へ行くこともない状態。歯の大切さ、食後すぐのうがい励行など学校全体で共有していきたいと思いました。
- ・ステファンカーブなど日々の生活で生かせる知識を多く教えていただき、ありがとうございました。
- ・歯について専門の方からのお話が聞けてよかったです。医療は日に日に進んでいて、どんどん更新されていくように感じました。携わっておられる方に感謝です。
- ・最新の医療のお話をわかりやすく説明していただき、ありがとうございました。病気というと暗いネガティブなことが多くなりますが、治療に向かう明るさと力強さに励まされる思いです。日本から発信される世界的な活躍もとてもうれしく、元気をいただきました。

##### ○実践報告

- ・分教室の様子がよく分かった。特に大運動会を開催していることには驚いた。ビデオはやはり分かりやすいです。
- ・肢体や病弱の児童が長期休暇の時に、検査などで入院することがあるが、常時となれば児童にとってかなりのストレスになると思った。
- ・なんとなく抱いていた「院内学級」というイメージですが、本日の説明を聞いてよく分かりました。今まではよく分からないという印象でしたが、今後分教室に入学する児童にあった場合は、イメージを持って接することができそうです。退院時連絡ノートも分かりやすいです。参考にさせていただこうと思いました。
- ・年間を通じての行事の紹介など、普段の様子が分かり、取り入れてみたいことなどもありました。長期入院の子が多い分教室ならではの支援の様子など、共感を持って聞かせていただきました。程度の差はあれ、予定より退院時期が長引いた児童生徒の「がっかり」に寄り添うときはいつも胸に迫るものがあり、また、その時をともに過ごせる大事さも感じています。院内学級の存在の大きさを子どもの言葉から気づく（知る）ことも多く、励まされています。場所や様々な違いはありますが、同じ目標に向かっている実践報告を聞くことができるととても心強かったです。ありがとうございました。

#### 4 考察とまとめ

講演では、本分教室の子どもが受けている治療について、理解を深めることのできる貴重な機会であった。

実践報告では、本分教室の概要をお伝えするとともに、子どもと接する中で感じた心のケアの大切さや、子どもの心の成長など、実際のエピソードを交えて報告することができた。